

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

1. 活動のテーマ

<テーマ>

食育 いんげんの育ちの観察、給食提供

<テーマの設定理由>

いんげんが苦手な子が多く、実際に育てて食材への興味を深める。また、食材がどのようにしてできるのかを探究していき、食への興味も深めていく。

2. 活動スケジュール

毎日の水やりを行い、成長を楽しみつつ、成長が確認出来たらその都度スケッチを行う。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

いんげんの成長をより感じ取れるよう電子黒板を使用して鮮明にスケッチを行う。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

いんげんの水やりや成長のスケッチ、電子黒板を使用し、より鮮明に映し出し、探究をしていく。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

いんげんの水やりやスケッチを行ったことにより、日々の成長を感じ取りながら興味を深められていた。また、子どもたちからいんげんのあとは何になるか？という疑問も出てきていて、実際に数個そのままにし、変化を見たりなど子どもたちからより探究したがる姿も見られた。また、種やさやが小さく、目を凝らしてもなかなか見えにくいなか、電子黒板を使用したことにより、より鮮明に観察することができた。保護者掲示では、スケッチしたものを廊下に張り出してみてもらったり、電子黒板でスライドショーにして実際の様子を写真などで見てもらい、すくわくプログラムでの取り組みに対して、詳細に伝えたことで、評価も高かった。食育とし

<写真>



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

今回の探究活動を通して、いんげんに対して、食材としての興味が深まり、食べられる子が多くなり、食材を実際に育てていく大切さを感じました。また、日々の水やりや観察を通して、子どもたちが植物の育ちにどのように育っていくのか、また、どのように変化していくのかという探究心を持ちながら取り組んで行ったことができた。今回、すくわくプログラムで購入させていただいた電子黒板の使用により、子どもたちが種、さやの中など鮮明に観察もすることができ、いんげんの仕組みについての理解も深め、探究心